

はじめに

平成25年度は、教育界にとって大きな岐路に立つ年となりました。「いじめ防止対策推進法」が施行され、子どもたちの人権や命に関わるいじめの防止に向けた新たな一歩を踏み出しました。また、道徳の教科化や英語教育改革、土曜日の教育活動の実施等、社会の変化に即した教育課題に対しても、活発な論議に基づく的確な舵取りが求められています。

本県では、「愛を基盤として、知力・体力・忍耐力を身に付けて、正々堂々と生きる子どもを育てる」をスローガンに、「確かな学力」「豊かな人間性」「たくましい心身」の育成を指導の柱として、様々な取組を進めてきました。「愛」とは、「大切に作る心」です。子どもたちへの教育は、一人一人を大切に作る心から始まると考えます。学習指導要領では、知・徳・体の調和のとれた育成を重視し、「生きる力」を育むことを目指すとされています。各学校においては、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成を目指した教育実践やそれを支える教職員の研修が更に必要とされています。

当教育研究所では、各種調査等の結果に見られる本県の教育課題について、課題解決につながるエビデンスの収集や先駆的な実践方法の研究を進めることを第一義とし、教育現場で活用できる情報の発信や「学び続ける教員像」の確立を目指した教職員研修の充実に努めています。

その取組の一つとして、本年度も当教育研究所の研究指導主事等の研究を「研究紀要」に、奈良県教育委員会指定研究員及び奈良県立教育研究所長期研修員によるプロジェクト研究・個人研究を「研究集録」にまとめました。この中には、教育現場における具体的実践で得たデータを基に、実証的・客観的な分析によって課題の解決に迫った研究成果を多数掲載しています。これらを日々の教育活動に御活用いただくとともに、今後の研究の進展のために御意見をいただければ幸いです。

なお、本冊子の掲載内容は、紙幅の関係上、各研究論文の要約となっています。更に詳細な内容につきましては、当教育研究所のWebページにて公開しています「平成25年度研究紀要・研究集録」及び当教育研究所図書閲覧室に保管しています「研究報告書」を御覧ください。

末筆となりましたが、指定研究員及び長期研修員の皆様をはじめ、研究を進めるにあたり多大な御協力と御支援を賜りました各関係校(園)の教職員の方々に心よりお礼を申し上げます。

平成26年3月

奈良県立教育研究所
所長 富岡 将人